

入院診療計画書

内視鏡的胃・食道粘膜下層剥離術(ESD)を受けられる()様へ

2部印刷
1部:患者ファイル
1部:患者様用

病名 胃癌 胃腺腫 食道腫瘍

年齢

生年月日:

薬剤師

主治医

受持看護師

病棟

管理栄養士

経過	入院前	治療当日	治療後1日目	治療後2日目	治療後3日目	治療後4日目	治療後5日目	治療後6日目	治療後7日目	
月日	月 日	月 日	/	/	/	/	/	/	/	
目標	治療の目的や必要性を理解し、安心して治療を受けることができます	安静を守ることができる 合併症を起こさず過ごすことができる	痛い時、調子の悪い時は、訴えることができる					今後の治療方針を理解できる 退院後の生活の注意点を理解できる 安心して退院することができる		
食事	普通食がです	食事は一日とれません。薬の内服のための少量の水分は飲みます	流動食がです	潰瘍食(5分粥)がです	潰瘍食(7分粥)がです	潰瘍食(全粥)がです	潰瘍食(軟飯)がです	潰瘍食(並飯)がです	潰瘍食(並飯)がです	
安静度	自由です	治療後は、部屋まで車椅子かベッドで戻ります。トイレ歩行以外はベッド上で安静に過ごします	病棟内を自由に歩くことができます							
清潔		シャワー浴、入浴をすることができます			シャワー浴をすることができます		入浴をすることができます			
点滴		入院後、治療前より点滴を開始します 翌日の昼まで持続点滴をします	点滴をします 食事が摂れない場合は点滴を追加します	点滴はありません 食事が摂れない場合は点滴を行うことがあります						
検査治療	血液検査・心電図・胸部X線撮影があります 	内視鏡室にて治療を行います(内視鏡下に、病変の下の粘膜下層を剥離していきます) 術後腹部X線撮影があります	血液検査があります						内視鏡検査にて術後の潰瘍の状態を確認します(問題なければ退院となります)	
内服	現在服用されている薬があればお知らせ下さい (抗血小板薬、ワーファリンなど血液を固まりにくくする薬は1週間前より休薬していただきます)	高血圧の薬などを除き、普段服用中の薬は中止していただきます 治療後、止血剤・抗潰瘍剤などの内服をしていただきます	普段内服されている薬を再開します(糖尿病の薬は除く) 抗潰瘍剤の内服	糖尿病の薬を飲まれている方は再開します	抗潰瘍剤の内服	抗潰瘍剤の内服	抗潰瘍剤の内服	抗潰瘍剤の内服	抗潰瘍剤の内服	
説明	主治医が治療について説明します 看護師が入院について説明します	主治医が術前に治療について説明します(治療についての承諾書をいただきます) 看護師が入院生活について説明します 術後に主治医が手術の経過説明をします 薬剤師がお薬について説明します		栄養士が食事について説明します				主治医が病理組織検査の結果について説明します	主治医が退院後の療養について説明します 薬剤師がお薬について説明します	

※上記内容は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることもありますのでご了承ください。また、中止診療行為について、主治医から十分な説明を受けました。

※ご質問等ございましたら気軽にスタッフへ声を掛けてください。

※ 特別な栄養管理の必要性 有

無 患者 又は 親権者・親族等サイン

(続柄)

◇総合的な機能評価◇ 評価対象外

・ 日常生活動作 問題なし 要経過観察

・ 認知機能 問題なし 要経過観察

・ 意欲 問題なし 要経過観察

高知赤十字病院 内科(消化器内科)

02-001-0(患者用)

